

広報

# かわにし

(毎月10日発行)

人口の動き	
— 9月1日現在 —	
男	4,698 (-14)
女	4,808 (-10)
計	9,506 (-24)
世帯数	2,302 (-4)
前月比較	

昭和61年 9/10 No.337

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎0257-68-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社



## 押せおせ豆力士

東善寺、十王堂では恒例の少年少女すもう大会が、お盆の16日に行われ、家族の大声援のもと、豆力士は奮戦しました。

### 主な内容

- ▷ 第一回都市計画審議会…………… 2
- ▷ 故田中与三郎さん叙勲…………… 3
- ▷ ようこそノ西ドイツ青年…………… 4
- ▷ 藤巻康子さんからの便り…………… 5
- ▷ 川西町芸能まつり…………… 6
- ▷ 宿泊客一万人達成…………… 7
- ▷ 町史の窓…………… 8
- ▷ はいけいふるさとさん…………… 9
- ▷ ようこそ川西町へ…………… 10
- ▷ 白倉小に夏季巡回公演…………… 11
- ▷ 戸籍の窓から…………… 12

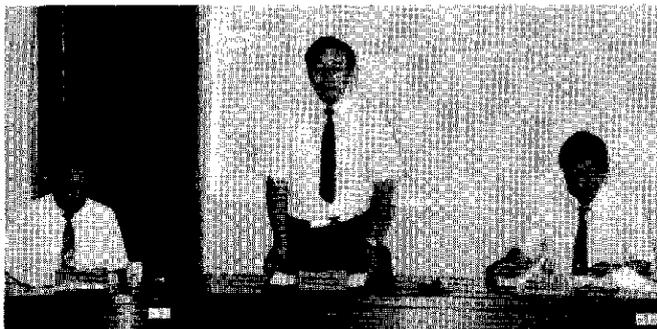
### + 休日救急医 -

- 9月14日 大島医院 (川原町) 52-2957
- 15日 山口医院 (下条中) 55-2003
- 21日 千手診療所 (中央町) 68-2034
- 23日 至誠堂医院 (西浦町) 52-3276
- 28日 中条病院 (中条) 57-3018
- 10月5日 池田医院 (本町西) 52-2581
- 10日 第二藤巻医院 (上野) 68-2018

# 八月五日 第一回都市計画審議会

## 会長 押木 議会議長 副会長 馬場 商工会長 を選出

八月五日役場委員会室で都市計画審議会が開かれました。町長の諮問に応じて、第一回会議を開いたもの。委員構成十五人で、会長に押木元男議会議長を、副会長に馬場文雄商工会長をそれぞれ選出しました。今年四月一日から、建設課に都市計画係を新設。事務サイドで調査を進めていました。当面



挨拶する押木会長、右馬場副会長

の諮問事項は、「計画区域の指定」で十一月末日をめどに答申の予定です。

### 都市計画

都市の健全な発展と秩序ある整備を図る

ことを目的としています。同時に、健康で文化的な都市生活、機能的な都市活動を確保することを基本理念としています。

この指定を受けると、土地利用、施設の整備や開発事業などの計画が一体的、総合的に定められることとなります。

### 予定される計画区域(案)

- 全部予定される所(大字名)
- 山野田、上新井、東善寺、高原田、伊勢平治、友重、弘道新田、霜条、鶴吉、宗正、新町新田、下平新田、小根岸、三領、木落、寺ヶ崎、上村新田
- 一部予定される所(大字名)
- 沖立、水口沢、中屋敷、坪山、上野、仁田、野口

委員は次のとおり。

### 町議会議員

議会議長	押木元男
議会議長	戸田哲次
総文委員長	滋野一郎
産厚委員長	平野正義
建任委員長	桑原要雄
学識経験者	
教育委員会委員長	金子幸作
建築組合長	南雲定平
建築士会長	高橋寛治
建設業会長	吉栗正雄

### 関係行政機関

十日町土木事務所長	小山嘉昭
十日町農地事務所長	長野開一
農業委員会副会長	今井誉夫
土地改良区理事長	平野圭二
農協組合長	丸山欽一郎
商工会長	馬場文雄

## 防犯組合再編会議

### 八月九日から新体制でスタート

八月五日役場で防犯組合再編評議員会が開かれました。

現在の防犯組合は、昭和三十二年に設立しました。各町内囁託員が、防犯連絡員となっていました。ところが、近年会議の招集や事業計画もなま、機能停止の状態になっています。警察側からの要請もあって、

警察側からの要請もあって、



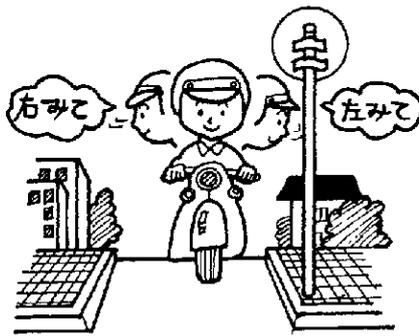
8月8日街頭指導の南雲町長

### 町長も街頭指導

右よし、左よし確認運動と平行して夏の交通事故防止運動月間のさなか、町長が町へ出て街頭指導をしました。県民総ぐるみの運動を一人でも多くの町民から認識していただくために行ったものです。

7月15日～12月31日

右よし、左よし確認運動



評議員会を招集。規約の一部改正など、現状に即した体制をととのえました。八月九日から新体制で再スタートすることになりました。

新しい規約による評議員は、次のとおり。

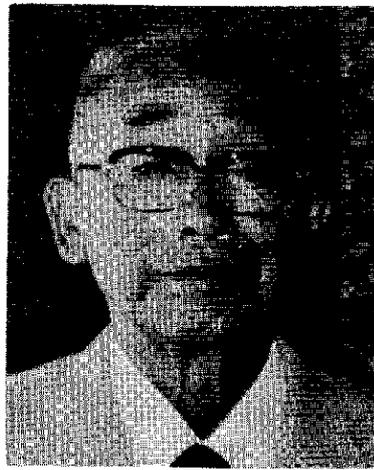
町行政機関代表  
教育委員会代表

- 農協組合長
- 消防団長
- 交通安全協会会長
- 商工会長
- 青少年育成町民会議会長
- 体育協会会長
- P.T.A.連絡協議会長
- 接客業者防犯組合支部長

議員活動の生涯

故田中 与三郎さん

正六位 勲五等 双光旭日章の荣誉



七月九日に亡くなった町議会議員田中 与三郎さん(山野田享年七十九歳)に、内閣総理大臣から正六位勲五等双光旭日章が贈られました。この位階は、中村壮吉、根津正三両故人に次ぐ三人目の荣誉です。

田中さんの公選職歴

22・4・30 千手町議会議員 (九年四月)
31・8・31 川西町議会議員 (二十九年十月)
61・7・9

審議会歴

27・4・1 千手町公民館審議委員 (四年五月)
31・8・31 員 (四年五月)
27・10・5 千手町教育委員 (三年十一月)
31・8・31 町村合併促進委員 (二年二月)
30・6・1 公民館審議委員 (二十八年七月)
60・3・31 青少年問題協委員 (十六年二月)
45・4・1 交対協委員 (十五年二月)
46・4・1 国保運営委員 (十二年十月)
61・7・9 農村総合整備委員 (六年十一月)
54・8・1 健康づくり推進委員 (四年二月)
61・7・9 水道事業委員 (四年)
61・5・28 信濃川架橋促進委員 (二年一月)
59・5・28

団体歴

28・4・1 十日町地区運転者協
45・8・31 会理事(十七年五月)

表彰

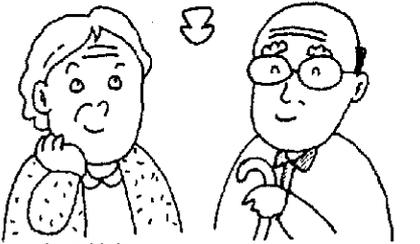
34・7・1 社会福祉協理事 (十一年十一月)
46・5・31 郡市社協振理事 (五年)
38・4・1 青少年育成県民会議理事 (四年)
47・3・31 道路除雪協力会長 (十六年七月)
61・7・9 十日町地区交通安全協会副会長 (七月)
45・9・1 河川愛護会理事 (十年十月)
44・11・25 県警本部長表彰 (交通安全功労)
43・7・10 知事表彰(同功労)
44・7・10 県公民館連合会長表彰(社会教育功労)
46・7・23 彰(社会教育功労)
51・2・6 全国議長会長表彰(地方自治功労)
52・7・23 県議長会長表彰(同功労)
57・10・14 厚生大臣表彰(国保事業功労)

ねん こんな方に 特別一時金が支給になります。 ぶんし

国民年金法等の改正で基礎年金が導入されたので、従来同一制度内でのみ行われていた一人一年金の原則に基づく併給調整を、異なる制度間の給付についても適用することになりました。このため、厚生年金保険法等の障害年金と国民年金法の老齢基礎年金とは、いずれか一つの年金を選択することとなりました。従来、国民年金に任意加入してきた厚生年金保険の障害年金受給権者は、今年四月一日から、その障害年金と老齢基礎年金が併給されないことになりました。これは、いわば基礎年金を二個支給するような形を避けて、年金制度における公平性を貫くためのものです。また、特別一時金の額については、昭和三十六年四月から昭和六十一年三月までの期間に係る国民年金の保険料の額の合計額を基準に特別一時金の対象となる保険料納付済期間に応じて算定されます。なお、障害福祉年金の受給者が国民年金の保険料を追納してきた場合についても、同様に特別一時金の支給対象となりますので、詳しいことについては、住民係へおたずねください。

特別一時金

国民年金の保険料を追納



障害年金受給権者 国民年金の保険料を追納してきた場合についても、同様に特別一時金の支給対象となりますので、詳しいことについては、住民係へおたずねください。



8月2日  
湯之谷、银山平キャンプ場

# 西ドイツ青年3人

## Willkommen = ようこそ!

ウィルコンメン

### 日独スポーツ少年団同時交流

八月二日西ドイツの青年三人が、町長室を訪れました。一行は、日独スポーツ少年団同時交流で来日したものです。前夜は、丸山和夫さん（上町）宅と白井敏夫さん（寺尾）宅に分宿。それぞれあたたかいもてなしを受けました。

丸山美和子さん（和夫長女）の通訳で町長と歓談のあと、三人でドイツの歌を合唱。町長から土産を渡されると「アリガトウ」といいながら握手を交わしました。

この日は、町スポーツ少年団百人とキャンプのため、银山平へ向かいました。四日は、川西高校の卓球部や陸上競技部の合宿に参加して、日本のスポーツの現況をつぶさに視察。次の目的地長野県へと出発しました。今回、日独スポーツ交流で、県内に十九人の選手が訪れました。

東ドイツ（ドイツ民主共和国）と一九七二年基本条約を結び、東西の関係が正常化しつつあります。西ドイツ（ドイツ連邦共和国）特に西ベルリン市民の東独訪問は可能になり、楽になりました。でも、境界周辺で起る事件にみられるとおり、正常化はまだほど遠いようです。

### 東西ドイツの関係

	ドイツ連邦共和国	日本
人口	6,142万人	1億1,192万人
総面積	250,000 km <sup>2</sup>	370,000 km <sup>2</sup>
人口密度	247人/km <sup>2</sup>	316人/km <sup>2</sup>
市町村数	17,880	3,259

このうち、14,000近くが、（人口2,000人以下の小さな村）を構成しています。



8月2日 町長室を訪れた一行

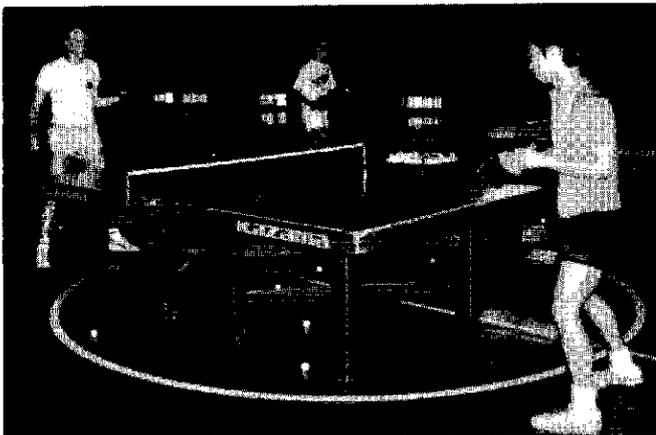
（左端は、通訳役の丸山美和子さん）

### 西ドイツでは

宗教は、キリスト教です。四九%がプロテスタント（福音派）、四四%がカトリックに属しています。

十八歳で成人となり、選挙権を得ます。被選挙権は二十一歳で与えられます。

学校制度は、現在改革中です。普通六歳で最初の学校に入ります。四年後にコースを決めて、五年制、六年制、九年制のいずれかへ進みます。約八〇%が九年制へ行きます。この九年制終了試験に合格すると、大学入学資格が得られます。



8月4日 川西高校卓球部と

# ブラジル期待の留学生

## 藤巻康子さんから便り

### — 日本の看護と社会を見て —

本紙六月号で紹介したブラジルからの留学生藤巻康子さん（寺ヶ崎出身）から便りが寄せられました。

いま彼女は、横浜の県立がんセンターで看護婦研修生として働いています。母方の叔母にあたる中島セイさん（十日町市新座）を通じて、文書広報係に日本の感想が寄せられたものです。

私は、海外協力事業団のお世話で、南米（ブラジル・サンパウロ）から研修生として、私のふるさと日本に帰って来ました。宿舎は、横浜の海外移住センターです。研修先は、神奈川県立がんセンターで五月から研修を受けています。その一部の病棟でもう三ヶ月になります。



がんセンターで働く康子さん

して、その組織に入っ  
て働くために、みんな  
ががんばって勉強して  
います。その勉強をい  
つもつづけて新しい人  
たちや後輩の人々につ  
たえることを感じまし  
た。看護婦チームの中  
で、先輩の人たちは、

日本の看護婦たちについて一  
番感じましたのは、まじめに、  
しっかりがんばることです。患  
者に対しては、親切に、ゆっく  
り説明します。また、患者の言  
うことや問題なども、だいに  
やさしく聞いてあげることです。  
日本の看護婦は、ある一つの  
組み立てと、きまりによって働  
いているようです。そ

自分より中間の人たちに心から  
せいっぱいで教えます。  
また、医者からも教わって、病  
気、治療、検査なども学んでい  
て、この看護婦たちはいろい  
ろな分野に明るいようです。

看護のために使う物品も、何  
から何までそろっているし、最  
近の新しい機械も使われていて  
とても便利に仕事しやすいと感  
じました。

### 社会について

私が日本に来て感じたことは、  
まだあさいと思います。感心  
したこともたくさんあります。

日本人は、仕事に対しては、  
とても熱心がんばります。自  
分の仕事をだいにして、愛す  
るように感じました。時間とき  
まりをきびしくまもること。ま  
た、みんながきょうそうの中に入  
っているようで、みんなと同じ  
になるようにがんばっています。

日本では、一人歩きも安心で  
す。どこを歩いても、すりには  
心配りません。傘や自転車な  
ど、あちこちおいていますけれ  
ど全然なくなることはないよう  
です。

道で歩いている人にたずねる  
と、ていねいにはっきりと教え  
てくれます。また、旅先で何か  
があると手をかしてくれま  
す。周りの人にはめいわくは、かけ  
ないと感じました。

日本って、どこに行っても人  
ばかりで人込みに酔うときがあ  
ります。

日本という国は、進んでいる  
国で、品物は何んでもあるし、  
人々はすぐくせいたくだと思  
います。まだ使える品物を、もう  
古いからといってとりかえたり、  
買わなくてもいい品物を買った

りすることです。

日本の結婚している女性と、  
ブラジルの女性をくらべると、  
こちらの女性は、金の無駄使い  
が多いようです。二、三人の子  
供をつれたお母さんらしくない  
奥さんらしくない人を見かけま  
す。日本の女性は結婚すると派  
手になるし、ブラジルは反対に  
あまり派手じゃなく奥さんらし  
くなります。

子供の教育については、あま  
りにもかわいがりすぎていると  
感じました。ほしい物は何ん  
でも買ってあげるし、すきなこ  
とをさせています。しかつても、  
子供はわがままで言うことをき  
かないようです。これじゃ子供  
が大人になってから、一人で何  
んでもやれない人間になると思  
います。

## 救急車を更新

### 郡市内初の4WDに

日本赤十字社新潟県支部から  
川西分遣所に配置されていた救  
急車が、八月七日更新を受け、  
同所に配置されました。

車種 いすゞファゴ4WD  
価格 約三百六十万円

仕様 乗車人員 八人  
ベット数 二  
装備 ツインエアコン



更新した救急車



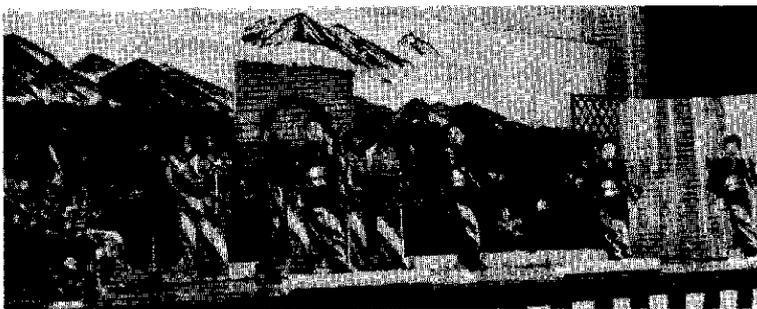
# 合併30周年記念

# 川西町芸能まつり



八月十七日、川西町芸能まつりが、総合体育館で、にぎやかに行われました。  
 この日の出演者は、三十二組総勢二百五十人。吹奏楽や郷土芸能などの熱演に、一千人余りの観客は、お盆の半日を、楽しく過しました。

県吹奏楽大会中学校Bの部で銀賞を受賞した川中ブラスも出演



千手露香保存会 千手露香

商工会長賞



野口芸能保存会 剣の舞

町長賞



中仙田 小林康弘さん 佐渡おけさ

新満川西農協長賞  
審査員特別賞



泉踊会上野支部 越後獅子の歌

# 30

合併30周年  
記念事業

## 「町の未来を考える」

### 論文(作文)募集

締切 10月9日(木) 必着

**応募資格**  
川西町の未来を考えてくださる方なら、どなたでも結構です。

**内容**  
「町の未来を考える」をテーマ

テーマに、四百字詰原稿用紙三  
五枚程度。

**入賞**

入選一点、佳作二点。  
(1) 入賞作品は、「町政のひろば」(十一月二十日発行予定)紙上に発表する。

(2) 十一月一日記念式典で表彰する(賞状、記念盾贈呈)ほか応募者全員に粗品呈上

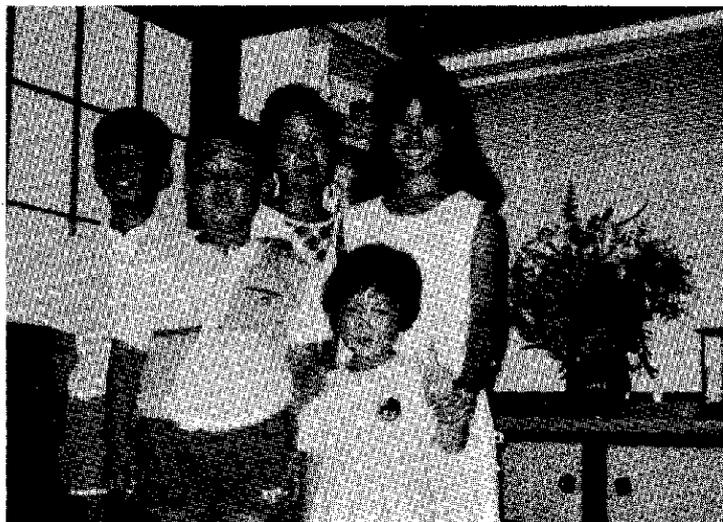
(3) 論文(作文)内容は、以後町政運営の参考にする。

**審査方法**

町三役、正副議長の選考による。(多数の場合は、総務課で予備審査し、十点ほど推せんする)

あて先

〒948-01 川西町中央町  
役場内文書広報係



中島さん家族と綾子さん⑥

## 8月23日 松葉荘 宿泊客一万人達成



町長から記念のキーを受ける  
太田ご夫妻

八月二十二日松葉荘が、宿泊客一万人を記録しました。五十八年七月開業以来、およそ三年で達成しました。年間営業日数三百日として一日十一人余りが宿泊したことになります。一万人目のお客様は、山野田北村日出太さんゆかりの太田ご

### 三人がピタリ賞

達成日あて投票では、次の三人がピタリ賞で、ペア宿泊券、コーヒータンと入浴券が、それぞれ贈られました。

金子勝治さん(岩瀬)  
丸山裕子さん(高原田)  
藤巻義明さん(塩辛)

夫妻(宇都宮在住)でした。コシヒカリ十キロと漬物セット、ペア宿泊券が贈られました。



## 第一区 橋地区 交通安全宣言大会

## NHK TV「おしん」の

## 小林綾子さん来町

八月十四日、テレビでおなじみの小林綾子さんが、中島徳栄さん(上野)宅を訪れました。彼女にとって中島さんは、母の兄にあたります。夏休みを利用して、お母さんと墓参りに来たものです。

この前米町したときは、おしんブームのまっただなか。落着くこともできなかったようすが「今回は、ゆっくりいななかのお盆を楽しむことができました」と話していました。

帰京後は、目下出演中のNHK大河ドラマ「いのち」の収録が待っています。

八月二十四日、橋地区交通安全宣言大会が、橋小学校を会場に行われ、六百人余りが集まりました。

交通安全憲章の唱和や、交通安全児童作文の入選発表などにつづき、地域ぐるみ一丸となつて、交通三悪を追放する八百二十四人の署名簿を、十日町警察署長に提出しました。

参加者は、白バイ、警察音楽隊、カラーガードとともに、街頭パレードを行い、交通事故防止を呼びかけました。

町史の窓

一千年も昔の話



赤谷集落センターに安置の延命地藏

赤谷の延命地藏

孝徳天皇（六四五～六五四）の御代に、蘇我氏に使えていた山田赤谷という大臣（おのおみ）が同役にうとまれて都を追われ、延命地藏菩薩（写真）を背にして諸国の霊場を尋ねる長い旅に出た。ある年、越の国へ入って米山を詣り、そのあと八石山へ登って四方を見渡したところ、辰巳（南東）の方向に奇煙が立ち昇っていた。赤谷が、その煙をめざして洩海川をさかのぼると霊場にふさわしい小さな集落があり、所を得たりと観慈した赤谷はそこに庵を結び、延命地藏尊を安置していずこへか立ち



千手観音堂

去った。寿命の長久と家門の隆盛を願うムラの衆に、この尊像は霊験あらたかで御利益が近郊にまで広がり、この集落はだれいとなく赤谷と呼ばれるようになった。ムラの中央に大ケヤキがあり、その付近には今も地蔵田の地名が残っている。この延命地藏尊を、行喜菩薩の一刀三札の御作だとする説もあるが、奈良時代（七一〇～七八四）を生きた行喜はそのころまだ生まれていなかった。

千手観音堂と半藤氏

千手の水口沢に、宝亀八年（七七七）の記年銘のある古碑が存在したと伝えられているがさだかではない。このすぐあとの延暦二十年（八〇二）に、坂上田村麻呂が陸奥の逆徒を征伐した帰りのこと、川西町を通過中に護持した千手観世音がにわかにな重くなった。そこで、一夜を仮眠したところ、夢枕に立った観音様が、「この地に留まりたい」と告げたため、田村麻呂は観音像を伊勢平治に安置して都に去った。このとき、観音様守護のために半藤宗正ほか数人を現地に留めたが、半藤氏の住居地はいつしか宗正村と呼ばれるようになった。弘仁年間（八一〇～八二二）に、子息が中屋敷に移住して子孫繁栄し、以後は千手郷の開発に加わって地域の進展に貢献したといわれている。この時代の千手郷の開発はめぐましかつたらしく、弘仁二年（八一）には水口沢三戸、東善寺三戸、中屋敷一五戸、山野田二戸、上新井七戸の民家を数えている。ちなみに、橋に狛を業とする民戸五を数えたのは、このときからおおよそ一六〇年後の永観元年（九八二）である。

平野兄弟と八幡社

千手の平野氏の祖は出雲大社の人で、名を貞住または長兵衛といい、ゆえあって京に上り、石清水八幡宮を深く信奉した。貞任（長兵衛）には長男の市郎と次男の市助の二児があった。父の没後は、二人で備前に行つて刀工の徒弟となった。きびしい修業を積み、業成ると市郎は備前忠を、市助は備前広行を名乗り、名工といわれた。延長二年（九二四）に、共に

また、上野の開発が始まったのは、それからさらに二六年後の寛仁三年（一〇一九）である。

長之助寄進の

石灯笼（千手神社）



越後に来て頸城の鍛冶屋敷に住んだが、天慶三年（九四〇）に相携えて魚沼郡に入り、兄は千手に居を構えて弥寺に八幡宮の社殿を建立した。天曆五年（九五）には弟も千手へ来て棚田に八幡宮を建立し、石像を安置して共に信奉した。弥寺の八幡社は、永正年間（二五〇四～一五二二）に水口沢字池の入山が崩れて亡失したが、文政四年（一八二二）に市郎の裔長之助が新たに石像を造り、市助の裔政五郎の社に祭つた。

棚田の八幡社は、弥寺の八幡社がなくなったところから千手の総鎮守として崇拝されるようになり、ムラの衆は米一斗を年貢として政五郎に贈っていた。文政年間（一八一八～一八三〇）に社殿を改築し、天保七年（一八三六）には長之助が石灯笼を造り、後に政五郎が鳥居を建てたといわれている。この八幡社は、明治四十年（一九〇七）に上新井の諏訪神社と合併し、そのさい千手神社と改称して現在に至っている。

はいけいふるさとさん

# 杉山に思うこと

— 豊かな自然を大切に —

十日町市 山賀 春江さん



の山になった様を想う時、私の胸は痛みます。

ある時、次のようなお話を聞きました。それは、杉の根が浅いので、地下水を溜めておくことができず、災害に弱い。雑木林は、針葉広葉の混交なので、根が広く深く、地下水もたっぷり貯えられ、災害に強いということでした。

前略、私先日久し振りに川西の山を散策して、びっくりしました。それは、今まで森や林だった所がいつの間にか伐(きり)払われ、杉苗が植えられてあったからです。あまりの変わり様に、道を間違えたのではないかと思っただけです。

私は以前、六年間川西町に住まわせたいただき、四季折々の豊かな自然に触れて、とても幸せでした。山の幸にも恵まれ、いろんな小鳥の囀(さえず)りも聞きました。それが今、次第に杉山に変わろうとしています。秋の紅葉も見られない杉ばかり

お考えのうえでの植林でしょうが、せっかくこれまでに育った林を伐ってしまうのは、とても残念に思います。

各地で開発が進み、動植物が安住の地を追われていると聞くにつけ、こんな風になつてはいけないと、切に祈ります。

現在川西町は、まだまだ自然が豊かです。いつまでもこの豊かさを守り、自然を生かして楽しく生活できたらいいなと思います。

私の六年間は忘れることができません。後略



文書広報係に寄せられた山賀さんの封書には、国土緑化記念に発売された美しいオオルリの切手が貼ってありました。そして「オオルリは、白、藍(あい)、黒のコントラストが美しく、名禽(きん)と言われています」と書き添えてありました。

## 高齢者事業団

### 就業実績まとめ

今年四月十一日に発足した十日町地域高齢者事業団川西事務所は、八月末日就業実績をまとめました。

同所では「高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくり」をめざして、町民のご理解とご協力を呼びかけています。会員登録や仕事提供の連絡は次へ。

総合センター内  
高齢者事業団川西事務所  
☎六八一三〇八  
有線 二五八七

### 8月末現在登録会員数

地区別	男	女	計	会員平均年齢
千手	23人	6人	29人	65.4歳
上野	6	4	10	66.6
橘	3	2	5	64.6
仙田	8	—	8	63.8
計	40	12	52	65.3

### 8月末現在事業実績と主な仕事の内容

発注区分	受託件数	就労日 延員	契約金額	主な仕事の内容
川西町	件8	人98	円499,920	封筒あて名書き、林道側溝清掃、水道メーター検針
民間事業所	6	116	644,750	草とり稲の育苗管理、下水管布設手伝い
一般家庭	13	195	660,594	雪囲い材料整理、草とり葉たばこ収穫
計	27	409	1,805,264	



# 県民芸術祭文芸部門作品

## 募集要項

締切り 10月9日(木)

### 1 種目

- \*小説 400字詰原稿用紙50枚以内
- \*詩 400字詰原稿用紙4枚以内、現代詩
- \*短歌 1人5首
- \*俳句 1人5句
- \*川柳 1人5句

### 2 県内在住者はどなたでも可 (小、中、高の児童、生徒は除く)

### 3 審査員

- \*小説 田中栄一(新大教授)
- \*詩 亀井義雄(詩人)
- \*短歌 中山礼治(現代歌人協会会員)
- \*俳句 佐藤野火男(県俳句作家協会会長)
- \*川柳 川口 弘(新潟川柳文芸社客員)

### 4 応募上の注意

- ア 400字詰原稿用紙に黒インク、黒ボールペン書き。
- イ 応募原稿1枚目に次のことを記入する。
  - ・応募種目明記
  - ・郵便番号、住所、氏名(ペンネームの場合は本名を( )書き)性別、年齢、職業、電話番号記入
  - ・2枚目から本文を書く。
- ウ 1種目1編、1人2種目以内。
- エ 応募の際、あて先明記の返信用葉書を同封すること。

5 〒950 新潟市新光町4-1  
新潟県教育庁文化行政課  
(☎ 0252-85-5511)  
封筒表面に「県民芸術祭文芸作品原稿」と朱書する。

## ガイド

# 情報

### 停電のお知らせ

9月25日(木) Am 8時~正午  
小根岸、木落、寺ヶ崎の全部

10月9日(木) Pm 1時~4時30分  
高原田、上野の各一部  
伊友の全部

### 心配ごと相談

- 9月17日.....克雪センター
- 24日.....総合センター
- 10月1日.....元町集落センター
- 8日.....公民館橋分館
- 15日.....克雪センター
- ※時間は午後1時~3時です。

### 8月の交通事故発生件数

	累計	件数	(前年同月)
死者	21	1	(5)
傷者	31	1	(9)
死者	0	0	(0)
酒よび	0	0	(0)
酒気おび	0	0	(6)

( ) 内は前年同月の件数



姉妹仲良く

長崎県から

岩瀬

登坂和代さん(姉)  
小川厚子さん(妹)

— 出あい(姉) —  
京都の染色織物会社に勤めていた時、取引先との慰安会で彼と知りあいました。仕事に熱中する姿と何ごとにつけ積極的リードしてくれる人柄にひかれました。結婚して二年間は京都に任んでいました。

— 川西町に住んで(姉) —  
生まれた所が海辺で、山にあげられていたのでこちらの土地は大変気に入っています。雪はめずらしいせいもあり、ほとんど苦になりません。最初は雪道を歩くことがうまく出来ませんでした、今ではスキーに乗れるようになりました。冬を五回経験しました。雪が消え

て木の芽、ウド等山菜の季節が楽しみですネ。

— 厚子さんが川西町へ —  
来られたキッカケは—

大阪に勤めている時、姉から遊びに来るよう再度の連絡がありました。正月休みを利用して来たのが始めです。その時彼を紹介されました。どうやら姉夫婦のおぜん立てにのったようです。お互い遠く離れていたのに、会う機会はありませんでした。でも金沢市で三回会い、彼の人柄にひかれました。

— 現在の生活は(妹) —  
姉と隣り同家で、仕事も同じです。ので親子で行き来をします。二家族が同居しているようなものです。賑やかで楽しいですヨ。でも、姉には感謝しています。いつまでも頭が上がりません。

— インタビューー家庭相談係 —  
右が姉の和代さん





次の善意が寄せられました。

◆一般寄付金

- \* 田中イシさん (山野田) から 十万円
- \* 小林荘平さん (東京・豊島区) から 百万円 (スキー場建設、仙田地域就労センター建設に)
- \* 松屋織物(株)(木島)から、百万円 (スキー場建設等に)
- \* 南小嶋屋本店 (木島) から、三十万円
- \* 高橋精三さん (東京・港区) から 十万円



秋の全国交通安全運動  
9月21日～30日

● 広報発行に

\* 金光トヨさん (富士吉田市) から 一万円

● 社会福祉に

\* 石沢利雄さん (中屋敷) から 三万円

◆ 社会福祉協議会へ

- \* 清水定一郎さん (寺尾) から 三万円
- \* 匿名 (木島) から 一万円
- \* 小幡邦保さん (仁田) から 五万円

民俗資料

- 酒井重平さん (中央町) から、皮製旅行カバンほか
- 山家甲治さん (木落) から、コイカギ、味噌杓子ほか
- 丸山荘吉さん (根深) から、ゼニ箱、文書箱
- 羽鳥正作さん (伊友) から、シヨイコ
- 上村峰松さん (上野) から、ザグリ、綿切りほか
- 新潟川西農協から、蔵の鍵 (かぎ) 多数

自治総合センター助成事業

カラオケ・VTRカメラ

貸出用備品整備

このたび、千手地区コミュニティ推進協議会(教育委員会内)では、自治総合センター助成事業で、次の備品を備えました。この事業は、宝くじの普及広報とコミュニティの健全な発展を目的に、備品を地域のみなき

んにお貸しするものです。おおいにご利用ください。

- コミュニティ行事備品
- キャンプ用テント(六人用)
- 屋外用テント
- 文化学習活動備品
- 日本語ワードプロセッサ

○ 十六ヶ発声映写機

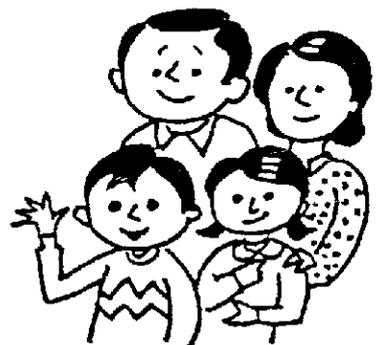
● ステレオ

○ VTR 一体形カメラ

● ワイヤレスアンブ

● カラオケセット

○ 印は、公民館の講習を受けてからご利用ください。



白倉小学校に

新大児童文化研究部

夏季巡回公演



演劇「牛飼いクオイ」の一場面

八月二日から五日にかけて、新大児童文化研究部十七人の夏季巡回公演が、白倉小学校を訪れました。

今回で三年連続して白倉小にきた研究部代表の佐藤茂幸さんは、「私たちは、毎年夏休みに、小規模校を訪問しています。子供たちと、工作やゲーム、劇などを通じて、じかに接していこうというところで活動しております」と話していました。

四日の昼には、プールで水上大運動会をやったり、夜には体育館で演劇と人形劇を公演し、参加した親子さんは、目をかがやかせ見いっておいりました。

